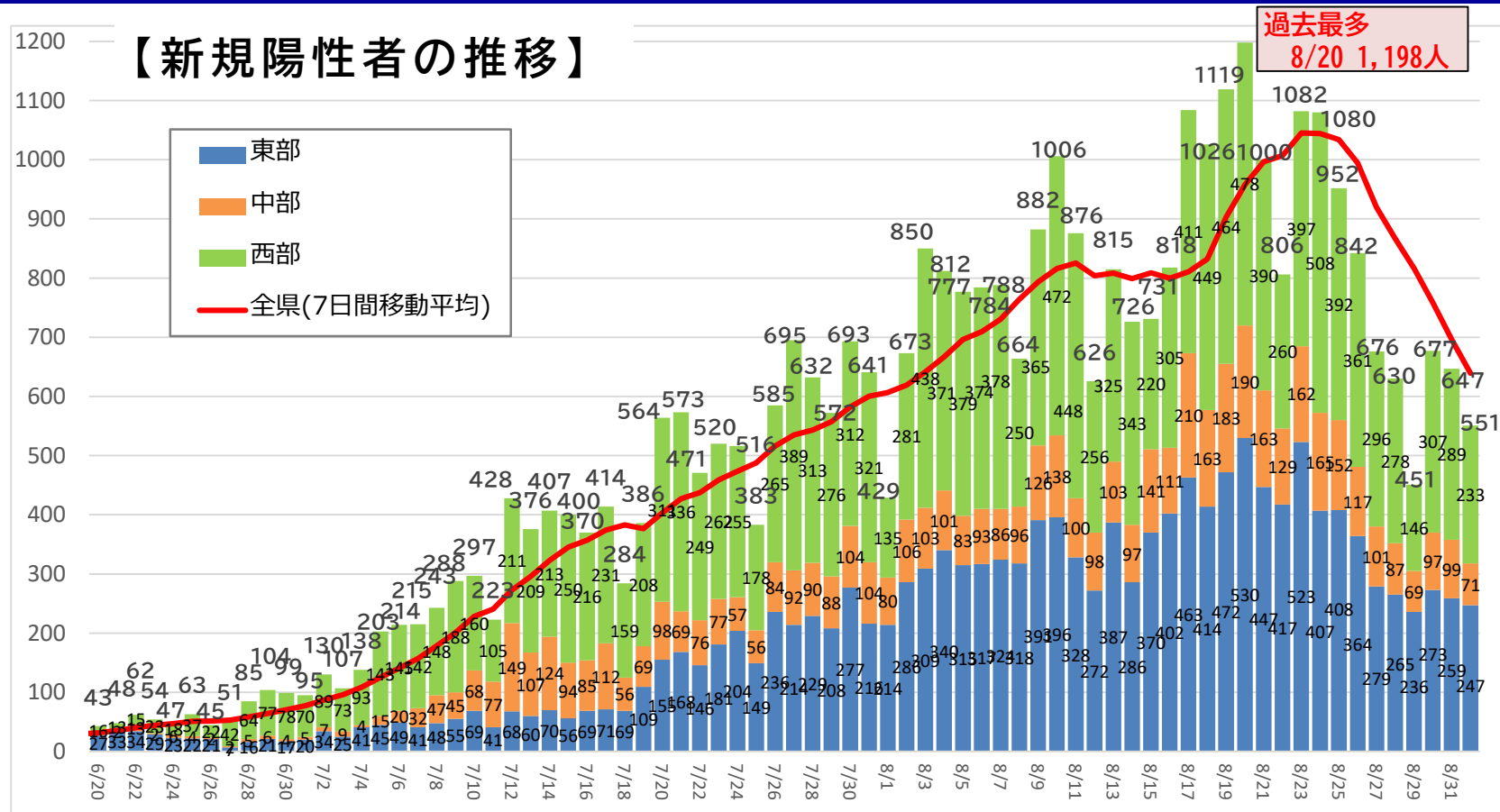


第7波の新規陽性者数の推移・クラスターの傾向

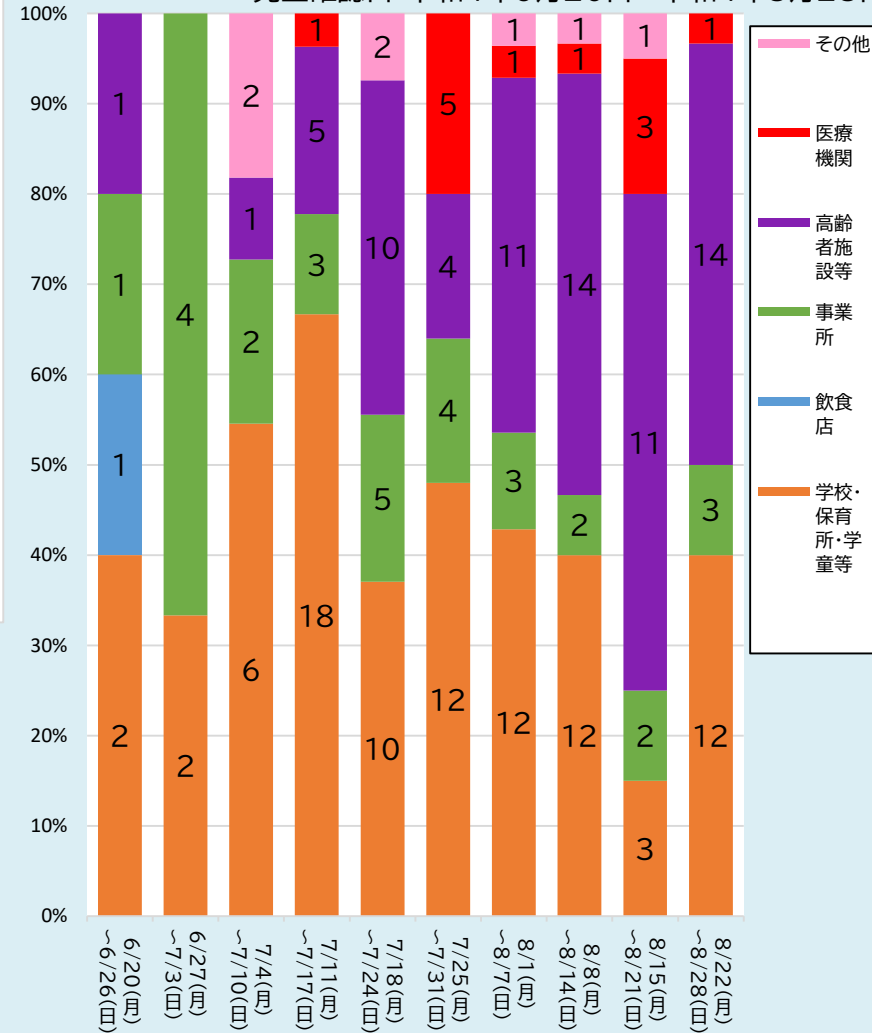
【新規陽性者の推移】



県内で220件のクラスターを確認

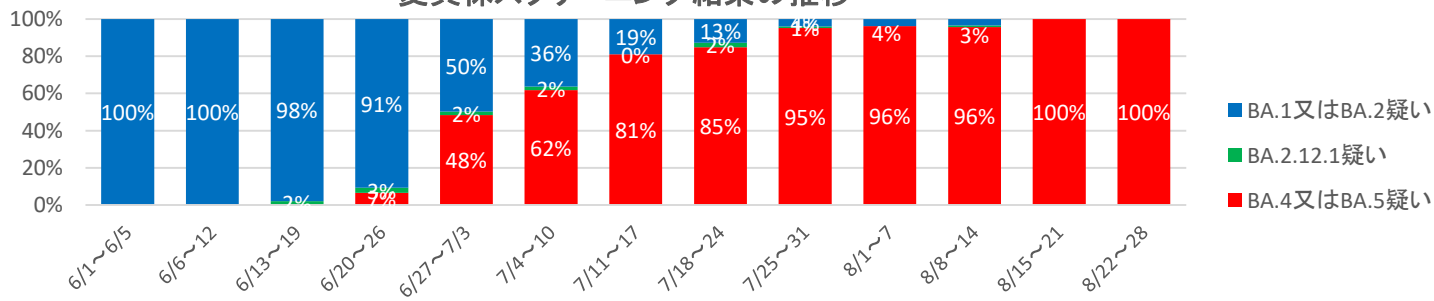
- 高齢者福祉施設等でのクラスターが引き続き多発。
- 盆が明け、保育所・幼稚園でのクラスターが増加。今後学校での感染拡大を懸念。

発生確認日: 令和4年6月20日～令和4年8月28日



【鳥取県版新型コロナ警報】西部に「特別警報」、東部・中部に「警報」発令中 【感染急拡大嚴重警戒情報】全県に発令中

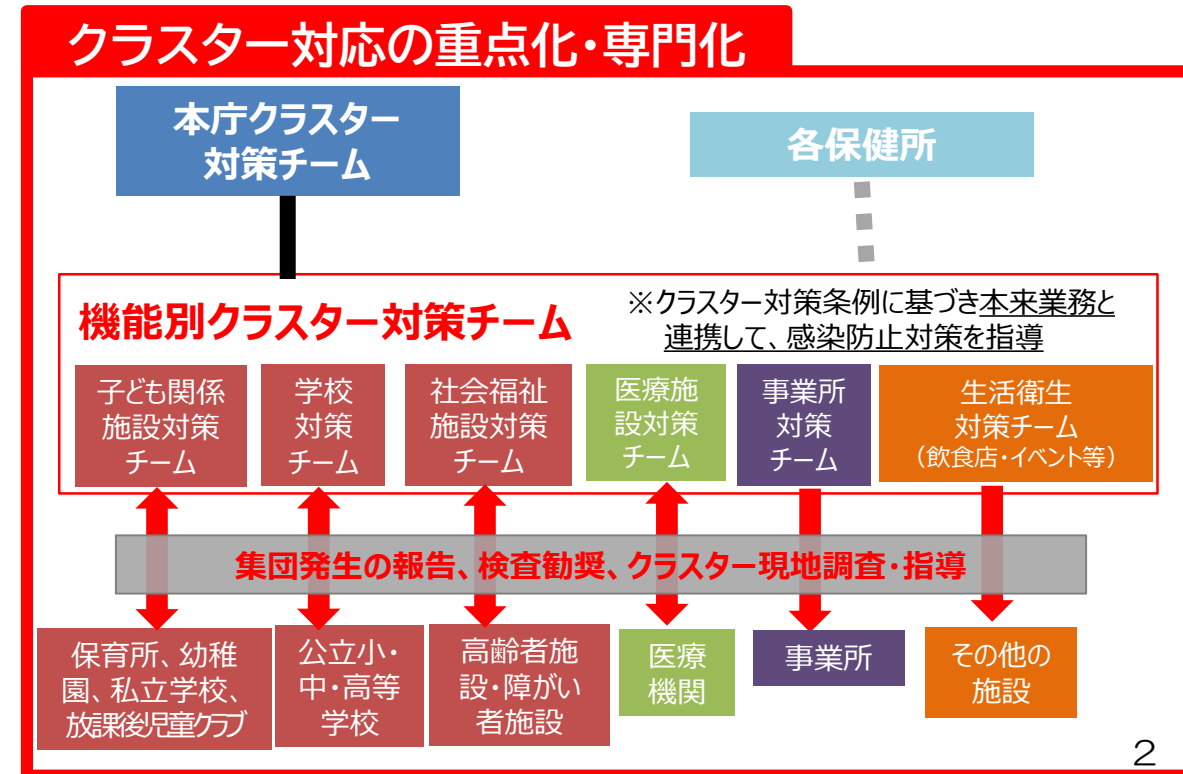
変異株スクリーニング結果の推移



BA. 5対応型安心確立進化系システム

- ① 誰ひとり取り残さない健康フォローアップを実施
- ② 重症化リスクのある方の対応に重点化
- ③ クラスタ-対応を重点化・専門化し感染抑制対策を拡充
- ④ 適切な医療を早期に実施

- 重症化リスクの低い方のため、「陽性者コンタクトセンター」を新たに設置し、今までの支援を格段に迅速化
 - ➔ 療養中に体調悪化した方を適切な医療機関につなげる
 - ➔ センター登録者へ、パルスオキシメーター全戸配布、食料品配布や健康観察、療養証明書発行
- 重症化リスクのある方を医療機関と連携し重点的に対応
- 機能別クラスタ-対策チームによる施設内での拡大を防止
 - ➔ 施設内での体調不良者の速やかな把握
 - ➔ 陽性者確認時の施設自らの早期検査実施(福祉施設・医療施設への検査費用支援)
 - ➔ 陽性者発生時の適切なゾーニング等の感染対策の助言、施設内療養時の対応困難事例等の相談対応 等
- ラゲブリオなど、従来の治療薬配備体制を維持し、新たな抗体薬「エバシールド」(アストラゼネカ社)を速やかに現場に配置していく



BA.5対応型安心確立進化系システム運用開始 県民の皆様へ

◆重症化リスクの高い方（届出対象者に該当する方）

いままでどおり、保健所が医療機関からの発生届を受け、陽性になられた方へ連絡します。

<届出対象者>

・65歳以上の方 ・入院を要する方 ・重症化リスクあり かつコロナ治療投薬又は酸素投与が必要 ・妊婦の方

◆重症化リスクの低い方（届出対象外の方）

陽性になられた方ご本人からコンタクトセンターへご登録をお願いします。（※医療機関から陽性になられた方へ案内チラシを配布）

陽性者コンタクトセンター

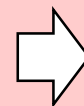
～陽性になられた方の登録・健康観察・相談に対応します～

◆電子登録・急を要しない相談申込：こちらのQRコードからお願いします

※混雑を避けるため、電子登録・相談申込での登録をお勧めします

◆電話での登録・相談申込：0857-26-8633（対応時間 8:30～20:00）

※症状悪化時等の急を要する場合の緊急的な相談は、24時間に対応します



受付開始9/2～

※上記のQRコード、電話番号は、県中西部にお住まいの方向けのものです。

※県東部にお住まいの方向けのものは、近日中に鳥取市から公表される予定です。

届出対象外の方に係る療養証明書の発行

県民の皆様の利便性が低下しないよう、これまでと同様に、感染症法に基づく届出の対象外となった方であっても、患者と診断された方に対して、療養証明書を発行します。

BA.5対応型安心確立進化系システム

届出対象者
[全体の約2割]

- ① 65歳以上
- ② 入院を要する
- ③ コロナ治療薬又は酸素投与が必要
- ④ 妊婦

医療機関受診

発生届(ハース入力)

保健所

個別聞き取り

療養先調整

入院

宿泊療養・在宅療養

療養証明

これまでの
2割程度に減少
↓
スピードアップ

届出対象外の方

医療機関受診/行政検査/無料検査

陽性者が連絡
(医療機関は案内)

手続き省略化

↓
スピードアップ

陽性者コンタクトセンター

届出対象者と同様に療養サポート

↓ 症状悪化

かかりつけ医等受診

↑ 症状軽快

重症化リスクを把握

発生届(ハース入力)

療養証明

福祉・医療施設の感染対策強化

本庁に「福祉・医療施設感染対策センター」を設置し、福祉施設・医療施設からの陽性者の報告を受け、速やかに感染状況の把握等を行うとともに、施設の相談等に応じる体制を整備し感染拡大抑制を図る。

新設

福祉・医療施設 感染対策センター

(福祉施設)

電話：080-6460-8923
メール：covid19-kansentaisaku@pref.tottori.lg.jp

(医療施設)

電話：080-9394-3592
メール：iryuu-hoken@pref.tottori.lg.jp

福祉・医療
クラスターチーム

連携・情報共有

保健所

陽性者発生時の報告（1人以上）

施設の対策を支援

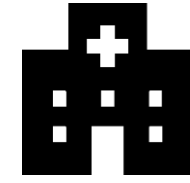
【陽性者発生時】

- 適切なゾーニング等の感染対策の助言
- 一斉PCR検査等の支援
 - ・PCR検査等10/10助成
 - ・検査キットを県に備蓄(3万個分)し、必要に応じて配布
- N95マスク、ガウン等の感染防護具の支援

【施設内療養時】

- 対応困難事例等の相談対応
- 協力医療機関、嘱託医等への協力依頼（ラゲブリオの投薬等）
- 不足するスタッフの派遣調整

現地支援



医療施設



福祉施設



協力医療機関
嘱託医等



他の施設

【施設の対策】

- ・ゾーニング等
- ・一斉検査
- ・感染防御策のレベルアップ (N95マスクの着用、7ルPPEなど)
- ・嘱託医等による入所者等への医療提供

職員
の派遣

診療等

2価ワクチン接種の実施へ

[国の検討状況]オミクロン株対応型ワクチン（2価ワクチン）の接種について、10月半ば以降としていた接種時期を9月中に前倒しする方向で検討

- ・対象者：18歳以上の1、2回目接種を完了したすべての者を想定 ※本県 約42万人
- ・接種間隔：前回完了から5カ月以上
- ・打ち手として、特例的に認めている歯科医、臨床検査技師、救命救急士の3職種に加え、臨床工学技士及び診療放射線技師の2職種を新たに認める方向で検討
- ・ワクチンの供給量や優先順位については現時点では不明

※2価ワクチン：従来株に対応した現行ワクチンと、オミクロン株の初期に流行した「BA.1」に対応する成分を組み合わせたワクチン

本県の対応 国の方針が決定次第、希望される方が速やかに接種できるよう体制を整備

・ワクチン接種体制協議会の開催

⇒市町村と実務上の協議（集団接種会場の確保、広域接種体制の構築など）、医師会への協力要請、県営大規模接種会場（東中西部3会場）の確保

・大学や企業等での職域接種の実施による接種機会の確保

⇒県内大学・商工会等と共同して学生・従業員を対象とした職域接種の働きかけ

・医師等の負担軽減を図るための新たな担い手の確保

⇒歯科医師会への協力要請、新たな担い手となりうる県臨床工学技士会や県診療放射線技師会に協力を要請

●小児接種（5～11歳）の努力義務化と3回目接種への対応

- ・夏休み期間中好評だったイオンモール日吉津での小児接種を引き続き実施 →9月18日以降の毎週日曜日、13～16時
- ・市町村と連携した更なる小児接種の加速化（中部地区で集団接種を新たに実施予定）



【9月補正予算案】 産業・雇用とくらしを支える

新型コロナ第7波・物価高騰対策 支援補助金

8億円

- ▶ **新型コロナや燃油・物価高騰の影響**を受けている県内事業者が取り組む販売促進や機器導入等への支援

売上10%以上減、または売上総利益（粗利）が10%以上減	補助率1/2 上限150万円
売上10%以上減、 かつ粗利が30%以上減	補助率 2/3 上限 200万円

例：価格転嫁への理解促進の広報、商品リニューアル
価格転嫁後の再来店のためのキャンペーン
省エネ・効率化のための機器導入 等



燃油及び原材料価格高騰・円安対策 特別金融支援事業

融資枠30億円増

- ▶ **制度融資（地域経済変動対策資金）の拡充・延長**
※コロナ禍・物価高騰による売上減等に対し、資金面で強力に支援（資金繰り、設備資金、借換 等に対応）
※融資枠**30→60億円**、申請期限を**3月末まで延長**
※市町村と協調した**3年間実質無利子化（1.43%→0%）**
- ▶ **新型コロナ第7波や物価高騰の影響により、回復が遅れている事業者に対する伴走支援**
※最長5年元本返済不要の長期一括返済資金の活用（R4当初措置済）
※コロナ対策融資（無利子無保証料）の条件変更（据置期間の延長）の活用や、**とっとり企業支援ネットワーク**による経営支援等、柔軟な対応

鉄道事業者に対する新型コロナウイルス対策等支援事業

0.2億円

- ▶ コロナ禍や燃油高で厳しい経営状況にある智頭急行・若桜鉄道に対し、県・沿線自治体が協調して運行継続支援を行う
※県・沿線自治体が協調して、1か月分の運行経費相当を支援（県1/4、沿線自治体1/4を補助）



【9月補正予算案】 産業・雇用とくらしを支える

賃金アップ環境整備応援補助金

1億円

- ▶ 長期化する物価高騰等で労働者の生活不安が増す中、一定以上の賃金アップを行う事業者の設備投資や人材育成等の取組を支援

事業所内で最も低い賃金を 50円以上引き上げる事業者	補助率 2/3	上限2,000千円
100円以上引き上げる事業者		上限3,000千円

取組例：旧式の在庫管理システムの更新による生産性向上
社員研修の実施による社員のスキルアップ
業務マニュアルの整備による業務効率化 等

- ◆ 事業所内の最も低い賃金が885～1,000円／時間の事業者が対象
(884円以下の事業者については、国の業務改善助成金を活用)

【参考】鳥取県最低賃金：854円（10/6～）

生活困窮世帯に対する光熱費助成

1. 2億円

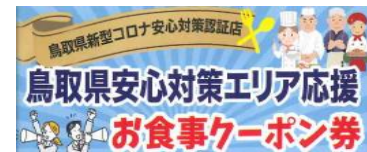
- ▶ 生活困窮世帯のエアコン等光熱費代を追加で助成

対象者	市町村が認める世帯 (17,000世帯を想定)
1世帯当たり 補助基準額	14,000円 (昨年度からの電気料金上昇分相当(2,300円)×半年分) ※市町村との協調支援

プレミアム付きお食事クーポン券の延長

1. 6億円

- ▶ プレミアム付きお食事クーポン券の販売期間を**11月末まで延長**し、追加販売を実施
- ◆ 新型コロナ安心対策認証店特別応援キャンペーン（プレミアム率25%）
- ◆ 安心対策エリア版割増クーポン食事券（プレミアム率43%）



自動車電動化に対応した県内企業の新展開

世界でEV化が進展
ピンチをチャンスに

自動車大変革(EVシフト)を見据え県内でも新たな動き!!

【三朝製作所】電気自動車・ハイブリッド車用ギヤ(歯車)製造工場を新たに建設

【NOK】エンジン防振ゴムの技術開発・製造力で、EV向け生産体制を強化

(株)三朝製作所 (三朝町)



ハイブリッド車用ギヤ

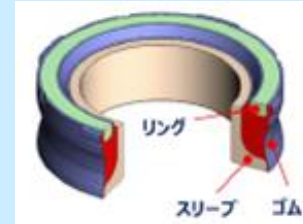
- 三朝町にEV・HEV用ギヤ新工場建設
- 今夏着工、12月完成予定

浅野歯車工作所は創業約100年
日本における歯車技術をリード!

- ◎ (株)浅野歯車工作所(大阪狭山市)の100%子会社として
大手自動車メーカー向けギヤを製造。
- ◎ EVやHEVの市場拡大で、小型・軽自動車用の
電動モーターユニット等に使用されるギヤの受注増加。
- ◎ 長年培った歯車加工技術により、同社製ギヤは、電動車
に重要な静粛性と滑らかな加速性を実現。

総投資額:約12億円 新規雇用創出:約20名 投資額の20%補助(想定)

NOK(株)鳥取事業場 (南部町)



EV関連ゴム部品の例

- モーター防振ゴム等の製造強化
- 令和5年度にかけて集中投資

NOKはオイルシールの
国内シェアNo.1企業!

- ◎ 鳥取では防振・防音製品の開発・製造を行っており、
防振製品のトーションダンパでは国内シェア60%。
- ◎ 自動車メーカーとの共同開発等により、
今後需要が高まるEV関連部品の受注拡大に注力。
- ◎ EV関連部品の生産体制強化により電動化に迅速対応。

総投資額:約5億円 新規雇用創出:約20名 投資額の20%補助(想定)

日時: 令和4年9月3日(土) 13:30~16:30 *YouTubeライブ配信により開催 後日アーカイブ配信も予定*

笑顔でつなぐ 女性活躍

➤ **パネルディスカッション「女性が笑顔で自分らしく生きていくために」**

【コーディネーター】 田中響氏(鳥取看護大学教授、日本女性会議2022in鳥取くらし実行委員長)

【パネリスト】 川口映子氏(産後ケアやわらかい風)、中井みずほ氏(Tottori Mama's)、
藤吉 航介氏(NPO法人bankup)、山口 とも子氏(高齢社会をよくする会くらし)

➤ **記念講演「輝く女性が日本を救う」**【講師】 金子恵美氏(元衆議院議員)

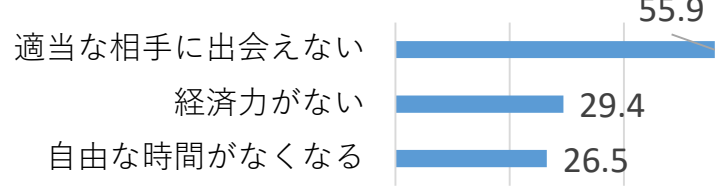
9/16まで
申込受付中

「日本女性会議2022in鳥取くらし」 10月28日(金)~30日(日) 主会場: 倉吉未来中心
女性活躍、健康問題等に関する分科会や記念講演、シンポジウム、視察研修など楽しみながら学べます!!

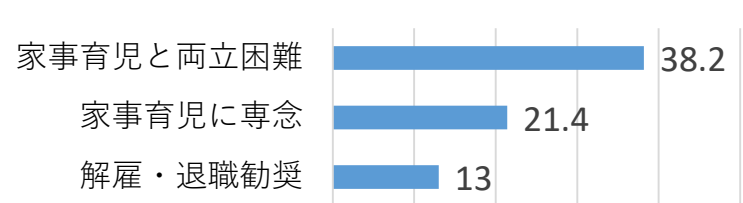
子育て王国とっとり

① **少子化対策等に関するアンケート調査結果 (R4年7月実施)**

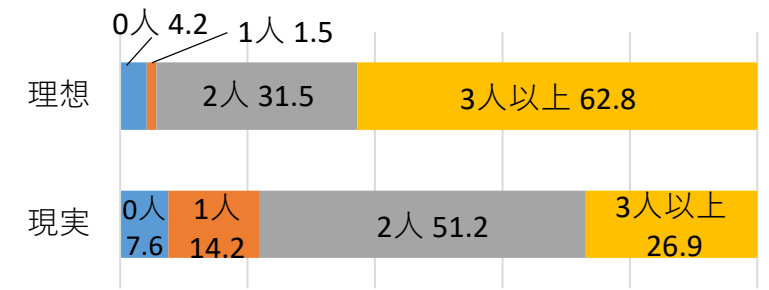
結婚しない理由



仕事を辞めた理由



理想と現実の子どもの数



② **鳥取県と全国における待機児童の状況 (R4.8.30公表)**

鳥取県の待機児童数は 0人 (R4.4.1時点) H18年から17年連続で 待機児童数ゼロ

[参考] 全国 2,944人(対前年▲2,690人) (主な要因) 保育の受け皿拡大、就学前人口の減少、新型コロナによる利用控え等

⇒ **必要な少子化対策・子育て支援施策 (結婚支援の強化、子どもを産み育てたいという機運醸成、職場の環境づくり等) を子育て王国とっとり会議において議論し、R 5 年度当初予算に向けて検討**

ベニズワイガニ漁・沖合底びき網漁解禁！

ベニズワイガニ漁

○漁期 令和4年9月1日(木)～令和5年6月30日(金)

○初競り 令和4年9月6日(火)又は7日(水) 境漁港

沖合底びき網漁

○漁期 令和4年9月1日(木)～令和5年5月31日(水)

○初競り 令和4年9月2日(金) 網代港、鳥取港(賀露)、境漁港

境漁港では8月に供用開始した新2号上屋で初めての競りを実施予定



蟹取県ウェルカニキャンペーン9月1日(木)スタート！



★今年は大タレントの山崎怜奈さんが蟹取県アンバサダーに就任

★"鳥取県公認「メルカニShops」"蟹取県公式サイトにオープン

①蟹×旅～蟹取県をもっと身近カニ～

鳥取をもっと身近カニ感じてもらえるスポットを温泉やサウナなどテーマ別に紹介

②鳥取県公認「メルカニshops」が蟹取県公式サイトに9月15日(木)オープン

③【宿泊チャレンジ】毎月100名に鳥取の旬のカニが当たる！9月1日(木)スタート

④SNSキャンペーン 10月1日(土)から開始

「メルカニShops」祭 (Twitter) #推し旅チャレンジ (Instagram)

「#WeLove山陰キャンペーン」「スペシャル・ウェルカニキャンペーン」の延長！

■対象期間: 令和4年9月30日(金)まで

クーポン券の利用可能期限: 令和4年10月1日(土)まで

■対象者: 中四国各県、兵庫県 在住者(広島県、愛媛県を除く)